

市政ホット ニュース

hot news!

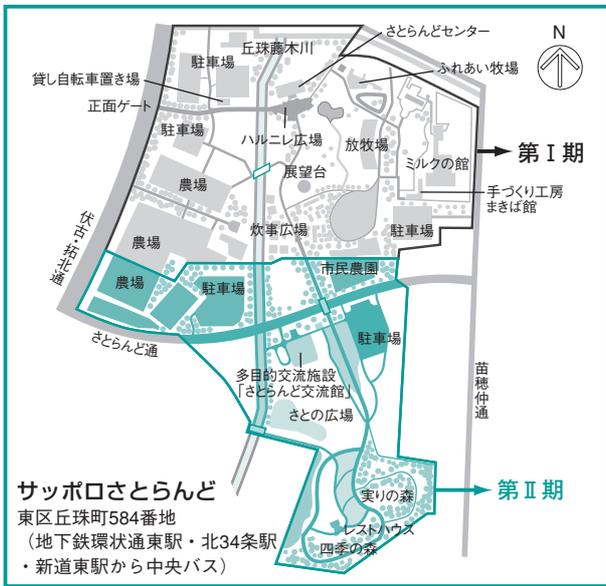
hot news

サッポロさとらんどに多目的交流施設がオープン

●さまざまなイベント会場として利用が可能



市民公募により名称が決定した多目的交流施設「さとらんど交流館」



サッポロさとらんど
東区丘珠町584番地
(地下鉄環状通東駅・北34条駅
・新道東駅から中央バス)

牧歌的な風景の中で土や緑と触れ合える農業公園として、平成七年のオープン以来、延べ三百六十万人が訪れている「サッポロさとらんど」。四月二十九日(祝)、第Ⅰ期エリアの南側・さとらんど通沿いに第Ⅱ期エリアがオープンします。さらに、緑が美しく育つ七月二十四日(土)には、芝生を敷きつめた前庭「さとの広場」なども全面的に開放してオープンングイベントを開催。おなじみのSLバスは、第Ⅱ期エリア内でも運行を開始します。

敷地内には多目的交流施設「さとらんど交流館」をはじめ体験農園、緑地を設置。サクラやカエデ、ノウゼンカズラなど、四季折々の花や紅葉が楽しめる「四季の森」と、クリやクルミ、キイチゴなど、実のなる樹木や小果樹を植えた「実りの森」などもあります。敷地面積は約三十六ヘクタール。三百四十七台収容の大型駐車場も用意しています。

「さとらんど交流館」は、休憩や食事などに利用できるほか、授乳室、会議室、ロッカールームなどを完備。食(生活・文化)や農業、自然など多様なテーマのイベントに利用できるメインホールや、体験農園で収穫した野菜や米をその場で調理・加工できる調理室なども備えています。

一方、体験農園は土づくりを進めながら、一部でそばや大豆を栽培。収穫時期には「さとらんど交流館」でそば打ちや大豆を加工した豆腐づくりなどを行い、実りの喜びを市民の皆さんと分かち合う予定です。

平成十七年度からは、農業の大切さや喜びを体験できる場所として、畑や水田も市民の皆さんに開放。学校関係や市民、企業、団体などが幅広く利用できる場になっています。

【詳細】さとらんど整備担当 ☎(787)3631

hot news

都市農業の未来について考えよう ●「都市農業ワークショップ」市民委員を募集

農業や遺伝子組み替え作物への不安など、食の安全性に関心が高まる中、市では農業の将来について考えるワークショップを開催します。

方針として17年3月に策定される「都市農業ビジョン」に反映します。

今回のワークショップでは、市民の皆さんや農業関係者とともに、農地保全や消費者との役割分担など、大都市における農業のあり方について話し合います。ここでまとめられた意見は、新たな農業振興

市では今後も、新鮮な札幌産の野菜「さつぽろ」とれたて「さつぽろ」の販売や、「さつぽろ農学校」の開催などを通して、農業の振興や、新たな担い手の育成に努めていきます。

申込方法など詳細については36ページをご覧ください。【詳細】農政課 ☎(21)2406